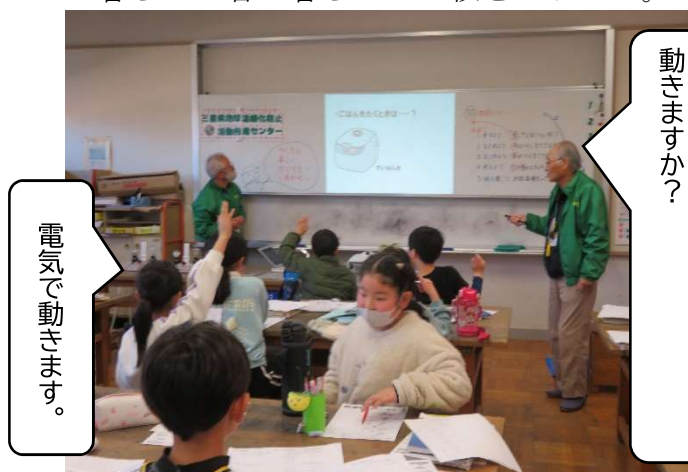


■ 今の暮らしと昔の暮らしを比べてみると・・・

3年生では、社会で「昔の暮らし」について学習しています。そこで、「三重県地球温暖化防止活動推進センター」の落合さんと吉田さんをお招きし、地球温暖化の観点から今の暮らしと昔の暮らしの比較をしました。



電気で動きます。

炊飯器は、何(のエネルギー)で動きますか？

まず、今の暮らしで使っている様々な家電製品や自家用車などは、石油（ガソリン、灯油など）や電気で動いているものがほとんどで、便利で快適な生活ができる反面、二酸化炭素をたくさん排出してしまっていることを学習しました。

次に、昔使っていた道具に実際触れ、どうやって動かしているのか、また、同じ電気を使うものでも電気の使用量はどれくらい違うのかなどについても調べることができました。



炭の力であたたまるとな。

お湯が入っているので、温かいな。



白熱電球は、たくさん回さないとなかないよ

「LEDは、軽く回しただけでついたよ！」



石臼を動かすのは大変だな。大豆からきな粉ができてきたぞ

3年生のみんなは、昔の生活は動力を人の力、熱源を炭や薪の燃焼に頼っていることが多いので、今の生活に比べるとたくさんの力を使わなければならなかったり、火をつけるなど危険なことも多く大変だった半面、二酸化炭素の排出量は少なかったことに気づくことができました。また、白熱電球、蛍光灯、LEDを手回し発電機でつける体験を通して、今は少しの電力量でも部屋の中などをより明るくする工夫がなされていることも知ることができました。

今回の学習体験をもとに、子どもたちの中から、地球温暖化問題を解決する人材が現れるとよいですね。

■ 高学年サーク学習

10月30日発行の第17号で、高学年の子どもたちが、令和7年4月に行われる植木まつりへ出品する植木の剪定作業を行ったことについてお知らせしたところですが、1月23日(木)に鈴鹿植木組合の皆さんにお越しいただき、植木まつりについて説明していただきました。説明を聞いて、組合の皆さんが植木まつりについて次の5つのような思いを持っていらっしゃるのことがわかりました。

- ① 鈴鹿市の方に鈴鹿は植木の産地なんですとアピールしたい。ほかの三重県の方や他県の方にもアピールしたい。
- ② お客さんとの会話を通じて、一般のお客さんがどのような植木を欲しいのかを理解し、生産に生かす。
- ③ お客さんに僕らの植木に対する思いを理解していただき植えてもらえると、それが近所の方へのPRにもなる。
- ④ 他の植木屋さんにも、自分の植木をアピール。
- ⑤ 他の植木屋さんの作り方を学び、自分の生産に生かす。

河村さんから、植木まつりについて説明していただいています。



10月にみんなで剪定した植木の育ち具合についても見せていただくことができました。どれも順調とのことでした。

お話を聞いていて、植木組合の皆さんが植木まつりを大切にしていることがよく伝わりました。特に⑤については鈴西小学校がめざす子どもたちの学びの姿に似ています。植木屋さん同士が切磋琢磨し合いながら植木産業を盛り上げるように、高学年の子どもたちも仲間とアイディアを出し合いながら、植木まつりを盛り上げるためにできることを考え、高まってほしいと感じました。

■ 今年度最後の授業参観にお越しいただき、ありがとうございました



4年生



5年生



2年生

1月29日(水)の授業参観では、全ての学年で、仲間と協力したり、仲間と考えを伝え合い、自分の考えを深めて発信したりする姿を見ていただきました。来年度以降も子どもたちが主体的に活動し、学力や体力を高め合えるよう、研修を進めていきます。今後ともご理解ご協力の程よろしくお願いします。



6年生



1年生



3年生